

男女共同参画コラム

未来へ紡ぐ
——多様性社会に向けて

小川 真理子

男女共同参画推進センター
准教授



継続は力なり。これまでを振り返ってみると、この言葉を心に留めながら、仕事に研究に向き合ってきたように思います。20年以上前、裁判所や司法機関等で通訳を担当したことを契機に日本における女性の権利や性別役割について考えるようになりました。法廷等で通訳をする中で、法制度に女性の視点が抜け落ちていることに気がつき、女性の人権を守るためにジェンダーの視点から社会問題を捉え直し、考え直す必要があるのではないかと思うに至ったのです。

女性学・ジェンダー研究との出会いは、まさに目からうろこ、成人になってから自分が変わってしまうほどに揺さぶられる思いをし、研究テーマになりました。

男女共同参画・ダイバーシティを推進するためには、生涯を通じた女性のエンパワーメントと男性を含めた連帯が肝要だと考えています。コロナ禍においては情報共有とインターネット等を活用したネットワーク作りも鍵になります。エンパワーメントは、人生の中で選択し決定する力を自ら獲得していくプロセスです。仕事も好きなことも少しずつでも続けることで力を蓄え、やがて成果が結実する日が来ることを信じて目指す方向に取り組んで参ります。

東北大学サイエンス・エンジェル
—女性研究者支援モデル育成—



サイエンス・エンジェル(SA)の最新情報はコチラからご覧いただけます!
※QRが読み取れない場合は下記URLよりアクセスをお願いします。
http://tumug.tohoku.ac.jp/blog/category/sa_event/



「男女共同参画推進のための行動指針」にある「次世代育成」に基づき、自然科学系女子大学院生を対象とした東北大学サイエンス・エンジェル(SA)制度を設けています。SAは次世代のロールモデルとして、小中高生や保護者・教師、特に理系進学に興味を持つ女子中高生に対して、体験型イベントやオープンキャンパス、出張セミナー等を通じて科学の魅力と研究のおもしろさを伝える活動を行っています。2020年度は48名のSAが任命され、7月1日(火)にオリエンテーションがオンラインで行われました。本年度の活動はオンライン中心になっており、これまでに「女子大生の日登録記念オンラインイベント第2部研究者ってなに?」「オープンキャンパス」編(オンラインイベント)、「東北大学キャンパスツアー」(YouTube)、「東北大学サイエンス・エンジェルnote」(note)などの活動を行っています。

各記事の詳細および当センターの活動予定は、TUMUG WebやSNSをご覧ください。

東北大学男女共同参画推進センター
Tohoku University Center for Gender Equality Promotion
TEL. 022-217-6092
所在地 〒980-8577 宮城県仙台市青葉区片平2-1-1
Mail office@tumug.tohoku.ac.jp
WEB http://tumug.tohoku.ac.jp/



TUMUG スケジュール

11月 November

28 第17回東北大学男女共同参画シンポジウム
「人を育てる~ポストコロナ時代~」
開催方法/オンライン
開催時間/13:00~16:00
対象/一般の方もぜひご参加ください。

12月 December

5 SA科学イベント「マグカップ
ケーキとラムネを作ってみよう!」
開催方法/オンライン
開催時間/14:00~15:30
対象/小学生(30名)

8 第8回 TUMUG
オンラインランチミーティング
開催方法/オンライン
開催時間/12:00~13:00(予定)
対象/本学研究者、教職員

19 SA科学イベント「身近なもの
からDNAを取り出してみよう!」
開催方法/オンライン
開催時間/10:30~12:00
対象/小学生4年生以上(20名)

「SAとびかびか☆LED手芸」
開催方法/オンライン
開催時間/13:30~15:30
対象/小学4年生~6年生(20名/抽選)

1月 January

調整中 第9回 TUMUG
オンラインランチミーティング
開催方法/オンライン
開催時間/12:00~13:00(予定)
対象/本学研究者、教職員

29 本部
金 ベビーシッター
利用料等補助(第3回)
対象/同居する小学校6年生までの子の
育児を行う教員、技術職員、
ポスドク等(男女)※詳しくは
TUMUG Webをご確認ください。

センター関係者情報

- TUMUGに小川真理子准教授が着任
<着任のご挨拶>
本年度より着任しました小川真理子と申します。学内のWLB・研究環境整備、女性リーダー育成、次世代育成等に取り組むとともに、本学のダイバーシティ推進事業がさらに発展しますよう精一杯務めてまいります。
- 芳賀 満副センター長が
第25期日本学術会議会員に就任



TUMUG

Nov. 2020
Vol. 17

「TUMUG」とは、「Tohoku University(東北大学)」「Movement(運動、活動)」「United(回結、協力)」「Gender(ジェンダー、男女)」からなる頭字語(アクリロニム)。東北大学が「紡ぐ」男女共同参画の取組が、ムーブメントとして広がっていくことを目指しています。



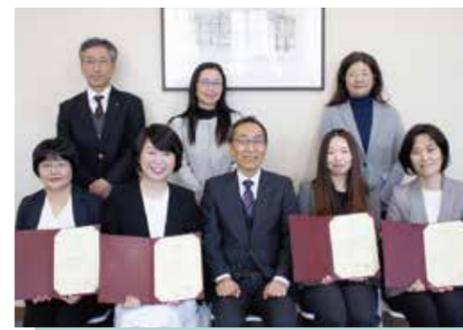
「紫千代萩賞」授賞式を開催

「仙台にあって千代にも続く知と創造をもたらす」という願いを込めて名付けられた本賞。第3回となる2019年度は4分野から各1名、合計4名の受賞が決定しました。

Headline News

2019年度 東北大学優秀女性研究者賞「紫千代萩賞」授賞式を開催しました。

女性研究者の育成と、ダイバーシティ向上による優れた研究成果の創出が目的。



後列左より齋藤総務企画部長、大隅センター長、田中副センター長、前列左より朱准教授、関口准教授、大野総長、吉川助教、齋藤准教授 ※後職は撮影当時のものです。

2019年度は、国際文化研究科の朱琳准教授(人文・社会科学分野)、理学研究科の関口仁子准教授(理学・工学分野)、医学系研究科の吉川貴子助教(農学・生命科学分野)、医学系研究科の齋藤蘭子准教授(医歯薬学・保健分野)の4名が受賞し、大野英男総長より表彰状ならびに副賞(研究教育費)が授与されました。本賞は、東北大学において優れた研究を展開する女性研究者に対しその活躍を讃えることで、研究意欲の一層の増進に繋げ、世界トップリーダーとなるような女性研究者の育成を目的とします。同時に、本賞の授与により女性研究者の活躍を促進することで、本学の研究環境のダイバーシティを高め、優れた研究成果の創出に繋げることを目的とします。第1回受賞者である梅津理恵教授は、猿橋賞を受賞し、現在、東北大学金属材料研究所の教授に女性として初めて任命されました。

日 時:3月17日(火)/11:35~11:50
会 場:本部本館3階 第2会議室(片平キャンパス)

2020年度前期 イベント開催報告

新型コロナウイルスの影響により対面のイベント等が制限される中、当センターではオンラインでのイベントを積極的に開催しています。

2020年度 TUMUG オンラインランチミーティング

日 時：第1回/4月21日(火)、第2回/5月19日(火)、第3回/6月16日(火)、第4回/7月21日(火)、第5回/9月29日(火)、第6回/10月20日(火)、第7回/11月10日(火) 各回12:00~13:00 開催方法：オンライン 対 象：本学研究者、教職員

TUMUG オンラインランチミーティングは、新型コロナウイルス感染拡大防止をきっかけにスタートしました。東北大学の女性研究者のネットワークの形成及び実質的な学際融合研究等への発展を目指し、定期的に開催しています。これまでに7回開催され、毎回40名前後の方にご参加いただいています。

■ プログラム	第5回：大森 美香	第6回：西 羽美	第7回：福泉 麗佳
第1回：参加者全員による自己紹介とスピーチ	(お茶の水女子大学 基幹研究院人間科学系 教授、東北大学 文学研究科 教授)	(お茶の水女子大学 基幹研究院 准教授、東北大学 情報科学研究科 准教授)	(情報科学研究科 准教授)
第2回：田中 真美	長澤 夏子	佐藤 敦子	佐藤 優花里
(東北大学男女共同参画推進センター 副センター長、医工学研究科/工学研究科 教授)	(お茶の水女子大学 基幹研究院 准教授、東北大学 工学研究科 准教授)	(お茶の水女子大学 基幹研究院 自然科学系助教、東北大学 生命科学研究科 助教)	(生命科学研究科 助教)
第3回：梅津 理恵	小川 真理子		
(金属材料研究所 教授)	(東北大学男女共同参画推進センター専任准教授)		
第4回：有澤 美枝子			
(薬学研究科 准教授)			
常松 友美			
(学際科学フロンティア研究所 助教)			



2020年度 東北大学サイエンス・エンジェル オンラインランチミーティング

日 時：第1回/5月12日(火)、第2回/6月9日(火)、第3回/7月14日(火) 各回12:00~13:00 開催方法：オンライン 対 象：東北大学サイエンス・エンジェル

今年度、東北大学サイエンス・エンジェル(SA)は、オンライン等を通して活動を展開しており、ミーティングもオンラインで行っています。SAオンラインランチミーティングはこれまでに3回開催しました。1回目と2回目は昨年度からの継続で任命されたSAのみで行い、3回目から新規で任命されたSAも加わりました。



「女子大生の日」登録記念イベント開催

日 時：8月21日(金) 第1部/16:30~18:30 第2部/14:30~16:00 開催方法：オンライン 対 象：第1部/学内教職員、学生、一般の方 第2部/中学生、高校生、保護者

8月21日は、初代総長である澤柳政太郎の打ち出した「門戸開放」の理念をもとに、1913年、日本の大学で初めて女性の入学試験合格を発表した日です(官報告示)。このとき入学した黒田チカ、牧田らく、丹下ウメの3名が日本で最初的女子大生となりました。それから100年以上を経て、本学では数多くの女性研究者を輩出しています。東北大学は8月21日を「女子大生の日」として日本記念日協会に申請し、正式登録されました。これを記念し、女子大生の日登録記念イベントをオンラインで開催しました。



第1部では、加藤諭東北大学史料館准教授と黒田チカ博士のご令孫である黒田光太郎名古屋大学名誉教授が講演を行ったほか、「門戸開放」の理念を打ち出した初代総長、澤柳政太郎の名前を冠した「澤柳政太郎記念東北大学男女共同参画賞」の第7回受賞者を発表しました。第1部は100名を超える方々が参加しました。



第2部では、自然科学系の女子大学院生で構成するSAによる中学生・高校生を対象とした研究発表・交流会を行いました。SAの研究分野の発表を通じて理系分野での研究の面白さや魅力、研究生活について伝え、各学部所属するSAとの交流会を通じて、理系分野への進学に興味を持つ参加者の疑問や相談にお答えしました。第2部は、国内外から高校生・保護者等(学内関係者含む)を中心に75名が参加しました。

第17回東北大学男女共同参画シンポジウム

「人を育てる ~ポストコロナ時代~」 日 時：11月28日(土) 13:00~16:00 開催方法：オンライン 対 象：どなたでもご参加いただけます

本シンポジウムでは、教育を受ける立場、企画する立場、そしてそれらをマネジメントする立場から、ポストコロナ時代の教育方法を通して時間の有効活用と人と人が交流することについて考えます。さらに、男女共同参画推進の現状を分析することにより、より良い男女共同参画社会の実現に向けて、参加者のみなさまとともに考える機会とすることを目指します。ぜひご参加ください。



<p>13:00 開会挨拶…大野 英男(総長) 来賓挨拶…板倉 康洋氏(文部科学省 科学技術・学術政策局長)</p>	<p>14:15 第2部：シンポジウム「人を育てる」</p>  <p>左より：DILWORTH, Machi 氏 (元沖繩科学技術大学院大学 副学長(男女共同参画・人事担当)) 杉本 和弘氏 (東北大学 高度教養教育・学生支援機構 教授、教育評価分析センター長) 大西 詠子氏(東北大学 大学院麻酔科 助教) 永野 友香氏(東北大学大学院医工学研究科 修士1年) コーディネーター：山内 正憲 (男女共同参画委員会委員、医学系研究科 麻酔科学・周術期医学分野 教授)</p>
<p>13:10 第1部：特別講演</p> <p>Promising Approaches Toward Full Participation of Women in Academia 海外の事例より学ぶ アカデミアにおけるダイバーシティ推進 講演者：DILWORTH, Machi 氏 (元沖繩科学技術大学院大学 副学長(男女共同参画・人事担当))</p>	<p>15:30 第3部：澤柳記念賞授賞式・受賞講演</p> <p>A賞：澤柳政太郎記念東北大学男女共同参画賞 課題名 科学技術分野の女性研究者支援と人材育成 受賞者 宮浦 千里氏 (東京農工大学副学長(特命戦略・男女共同参画担当)、女性未来育成機構長 工学研究院教授)</p> 

申込方法

◆事前登録制【11月25日(水)締切】
参加を希望される方は、右記QRコードより参加登録を行ってください。男女共同参画委員会のホームページからもリンクしております。



応募登録フォーム



男女共同参画委員会ホームページ

お問い合わせ先
東北大学人事企画部人事企画課
022-217-4811
danjyo@grp.tohoku.ac.jp
http://www.bureau.tohoku.ac.jp/danjyo/index3.html

開催報告

第1回、第2回 TUMUGサロン online 「科研費セミナー」

科研費申請のシーズンに合わせ、女性研究者を対象にカジュアルな科研費講習セミナーをオンラインで開催しました。第1回目は文学研究科の佐藤嘉倫教授(JSPS社会科学 主任研究員)、第2回目は薬学研究科の稲田利文教授(JSPS生物系科学 専門研究員)を講師にお迎えし、科研費採択に向けての説明がありました。第1回目は人文・社会科学系の学内女性研究者を中心に15名、第2回目は自然科学系の学内女性研究者を中心に28名の参加がありました。

●第1回(人文・社会科学系) 日 時：9月16日(水) 19:00~20:00 開催方法：オンライン
●第2回(生物・理工系) 日 時：9月17日(木) 17:00~18:00 開催方法：オンライン

第1回スキルアップセミナー 「科学発表のビジュアル デザイン」

今回は日本サイエンス・ビジュアルゼーション研究会代表で筑波大学芸術系教授の田中佐代子先生に、科学研究の成果を分かりやすく伝えるにはどのように資料を準備したら良いか、科学的な内容を視覚的にプレゼンする技法について、実例を挙げながら分かりやすく解説していただきました。59名の参加がありました。

日 時：10月28日(水) 13:30~14:45 開催方法：オンライン



女性研究者の業績

【受賞】 ■化学工業学会賞 研究賞 玉置明善記念賞：北川尚美教授(工学研究科) ■令和元年総長教育賞：西出優子教授(経済学研究科) ■EAMSA学会賞：金照珍准教授(経済学研究科) ■第2回キャタピラーSTEM賞特別表彰賞：ヘルナール クリステル助教(学際科学フロンティア研究所) ■高分子学会 2019年度 高分子研究奨励賞：朱慧婉助教(工学研究科) ■第34回 獨創性を拓く 先端技術賞 優秀賞(フジテレビジョン賞)：阿部結奈助教(工学研究科) ■アドバンス創造工学研修 2019年度 Best Poster Award：武藤由依さん(電気通信研究所、学部4年) ■JCI JAPAN TOYP 2020会頭特別賞：鈴木杏奈助教(流体科学研究所) ■2020年度 環境バイオテクノロジー学会 奨励賞：簡梅芳助教(環境科学研究所) ■2020年日本結晶成長学会第18回奨励賞：川西咲子助教(多元物質科学研究所)

【就任】 ■CHI 2021 運営委員(Student Volunteer Local Support Chair)：Wang Xiyue学振特別研究員(情報科学研究科) ■日本学術会議第3部幹事：[新規]北川尚美教授(工学研究科)

【その他】 ■バイオバンク細胞試料の酸化・炎症ストレス応答性について[Free Radic Biol Med.]に発表：峯岸直子教授、石田典子助教、西島雅知子講師(東北メディカル・メガバンク機構)、李賓助教(未来型医療創成センター) ■明文書林「子ども学」第18号、日本心理学会「心理学ワールド」91号、「Japanese Psychological Research」に論文を発表：長谷川真理教授(教育学研究科) ■三核子系散乱による三体核力の発見：関口仁子准教授(理学研究科) ■Forbes 30 Under 30 Asia list - Class of 2020「Healthcare&Science」に選出：渡部花奈子助教(工学研究科) ■国際会議「ICRA 2020」にて共同研究チームで発表：高根英里助教(工学研究科)